【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和5年1月23日(2023.1.23)

【国際公開番号】WO2021/220790
【出願番号】特願2022-517608(P2022-517608)
【国際特許分類】
Ａ２４Ｂ　3/00(2006.01)
Ａ２４Ｂ 13/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２４Ｂ　3/00
Ａ２４Ｂ 13/00

【手続補正書】
【提出日】令和4年10月25日(2022.10.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
保管工程における葉たばこの平均粒子径は、特段制限されないが、通常０．５ｍｍ以上であり、１ｍｍ以上であることが好ましく、３ｍｍ以上であることがより好ましく、５ｍｍ以上であることがさらに好ましく、また、通常５ｃｍ以下であり、３ｃｍ以下であることが好ましく、２ｃｍ以下であることがより好ましく、１ｃｍ以下であることがさらに好ましい。本明細書において、平均粒子径は、実測またはレーザ回折／散乱法により測定され、体積平均径を表す。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
保管工程における葉たばこのＣＩＥＬａｂ表色系での初期のａ＊値は、最終製品の使用者の印象を好ましいものとすることのできる所望の緑色を有する葉たばこを得る観点から、－２．０以下であることが好ましく、－３．０以下であることより好ましく、－４．０以下であることがさらに好ましく、－５．０以下であることが特に好ましく、また、通常－３０．０以上であり、－２０．０以上であることが好ましく、－１５．０以上であることがより好ましく、－１０．０以上であることがさらに好ましい。また、保管工程においてａ＊値が保持される範囲も上記範囲であることが好ましい。なお、上記のａ＊値は、水分含有量によって変化するが、水分含有量の変化後すぐに変化するのではなく、徐々に変化する。
保管工程における葉たばこのＣＩＥＬａｂ表色系での初期のＬ＊値及び保管中のＬ＊値は特段制限されず、例えば、２０以上、６０以下であってよい。
保管工程における葉たばこのＣＩＥＬａｂ表色系での初期のｂ＊値及び保管中のｂ＊値は特段制限されず、例えば、１０以上、４５以下であってよい。
上記の葉たばこのａ＊値、Ｌ＊値、及びｂ＊値は、保管工程の直前の葉たばこ、又は保管容器から取り出した直後の葉たばこの表面を対象に分光測色計（例えば、KONICA MINOLTA/CM3500d, Konica Minolta_Holdings, Inc.）を用いて測定する。測色操作は、標準光

（測色用標準イルミナントD65，CIE，ISOの基準光）を当て、反射光を測定（反射色測定／正反射光除去方式（SCE））にて行って数値化する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４８】
［ＣＩＥＬａｂ表色系でのａ＊値、ｂ＊値、及びＬ＊値の測定方法］
葉たばこのａ＊値、ｂ＊値、及びＬ＊値の測定は、葉たばこの表面を対象に分光測色計（KONICA MINOLTA/CM3500d，Konica Minolta_Holdings，Inc.）を用いて測定した。測色
操作は、標準光（測色用標準イルミナントD65，CIE，ISOの基準光）を当て、反射光を測定（反射色測定／正反射光除去方式（SCE））にて行って数値化した。なお、色の定義は、国際照明委員会（Commission International de l’Eclairage:ＣＩＥ）およびＪＩＳ
にて採用されているＬ＊ａ＊ｂ＊表色系にて表現するものである。